



平成26年7月25日

お知らせ

■同時資料提出先 福山市政記者クラブ
府中市役所記者クラブ

台風期に備えた堤防・護岸等 河川管理施設及び河道の点検を実施します。

国土交通省福山河川国道事務所では、これから迎える台風期に備えて堤防・護岸等河川管理施設及び河道の点検を下記のとおり実施します。点検には職員に加え「防災エキスパート」にも参加頂き、水防活動上重要な区間の点検も併せて行います。

また、治水上影響が大きい損傷等を発見した場合は補修や注意表示を実施すると共に、点検結果は河川管理資料としてとりまとめ、今後の堤防の維持管理に活用していきます。

なお、今回の点検ではタブレット端末を用い、河川維持管理業務を支援するシステム「RMDIS（リマディス）」を活用した点検を実施します。（RMDISの概要については別添を参照）

記

- 点検日時 : 平成26年7月31日（木） ※報道対応
 平成26年8月 5日（火）
 平成26年8月 6日（水）
 平成26年8月 8日（金）
 いずれも9：30～16：00
- 点検場所 : 芦田川及び高屋川の国管理区間
- 参加人数 : 国土交通省職員 54名（延べ）
 防災エキスパート 9名（延べ）

※現地による取材対応は31日（木）のみとさせていただきます。なお、取材の場所につきましては、別紙駐車場にて9：15頃から30分程度でお願いします。

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長 後藤 寿久

【担 当】河川管理課長 山根 千澄

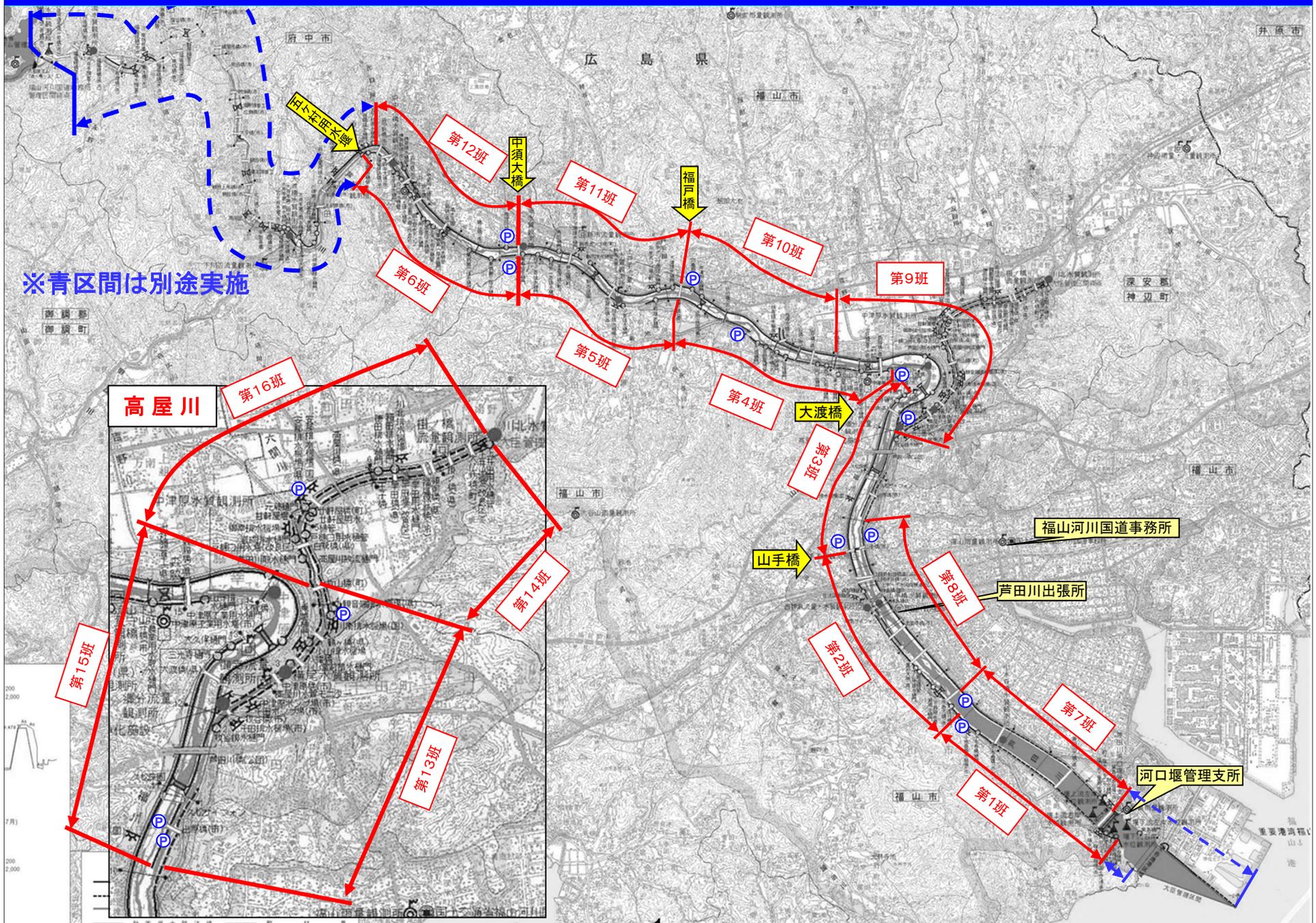
TEL(084) 923 - 2511 (ダイヤルイン)

TEL(084) 923 - 2620 (代表) FAX(084) 923 - 2517

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>



H26年度 堤防等河川管理施設及び河道の点検 班編制





H26年度 堤防等河川管理施設及び河道の点検 班編制

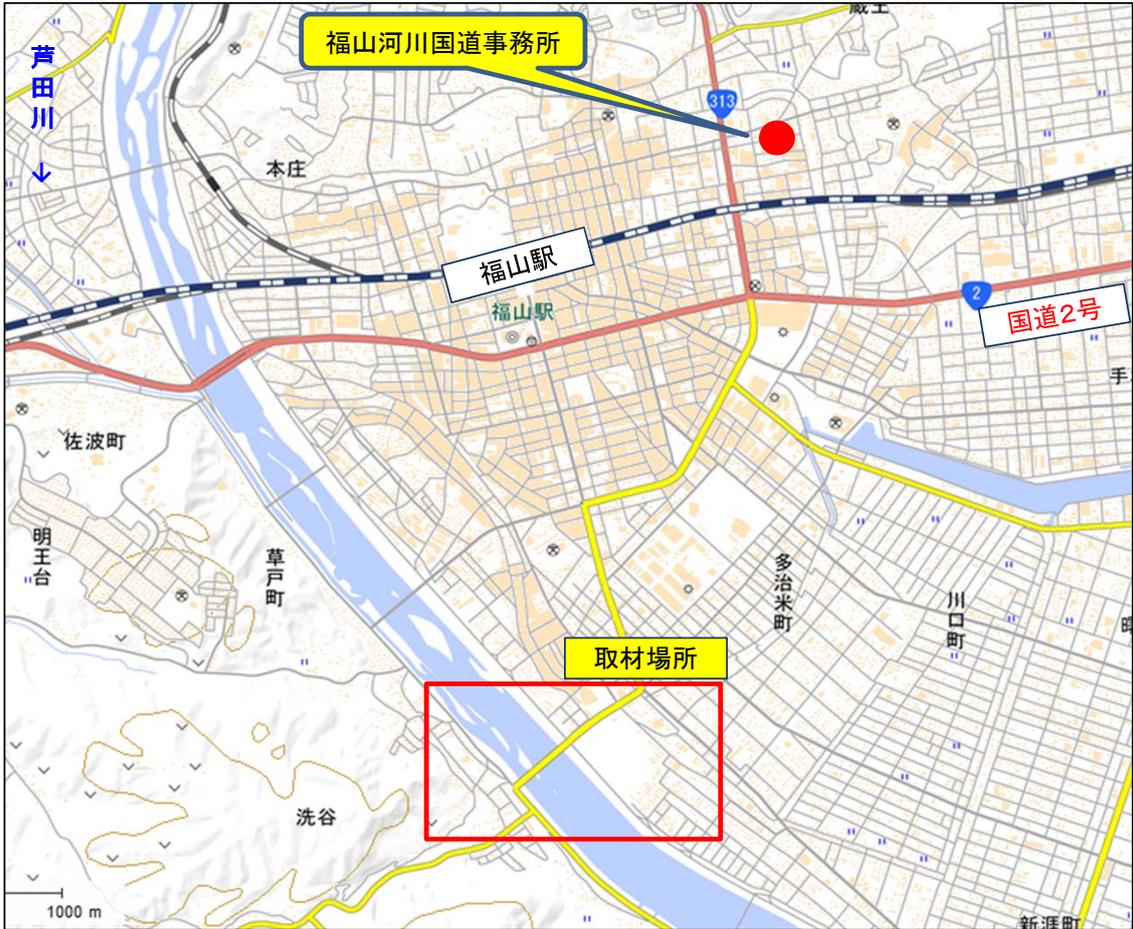
実施日	班	河川名	左右岸	点検区間				点検距離 (片道)	備考	
				起点	河川距離標		終点			河川距離標
7/31	1	芦田川	右	水呑漁港	0.70	～	4k400駐車場	4.40	3.70	
7/31	2		右	4k400駐車場	4.40	～	8k900駐車場	8.90	4.50	
8/8	3		右	8k900駐車場	8.90	～	大久保樋管	12.90	4.00	
8/8	4		右	山守排水樋門	14.70	～	福戸橋	19.70	5.00	一部点検不要区間(県区間)有
8/5	5		右	福戸橋	19.70	～	中須大橋	23.60	3.90	
8/5	6		右	中須大橋	23.60	～	五ヶ村用水堰	28.05	4.45	
7/31	7		左	河口堰管理支所	1.30	～	5k400駐車場	5.40	4.10	
7/31	8		左	5k400駐車場	5.40	～	10k000	10.00	4.60	
8/8	9		左	12k000駐車場	12.00	～	下郷橋	16.10	4.10	
8/8	10		左	下郷橋	16.10	～	福戸橋	19.70	3.60	
8/5	11		左	福戸橋	19.70	～	砂川合流点	23.10	3.40	
8/5	12		左	中須大橋	23.60	～	有堤部終点	27.70	4.10	
8/6	13	高屋川	左	0k000	0.00	～	片山橋	4.05	4.05	
8/6	14		左	片山橋	4.05	～	管理区間端	7.60	3.55	
8/6	15		右	0k000	0.00	～	片山橋	4.05	4.05	
8/6	16		右	片山橋	4.05	～	管理区間端	7.60	3.55	

➤ 1班当たり人員は4名程度を予定している。

点検で使用する器具

- タブレット
- ポール
- ピンポール
- コンベックス
- クラックスケール
- ハンマー
- スプレー

別紙(取材場所案内図)



取材場所(拡大図)



1 RMDIS(リマディス)とは

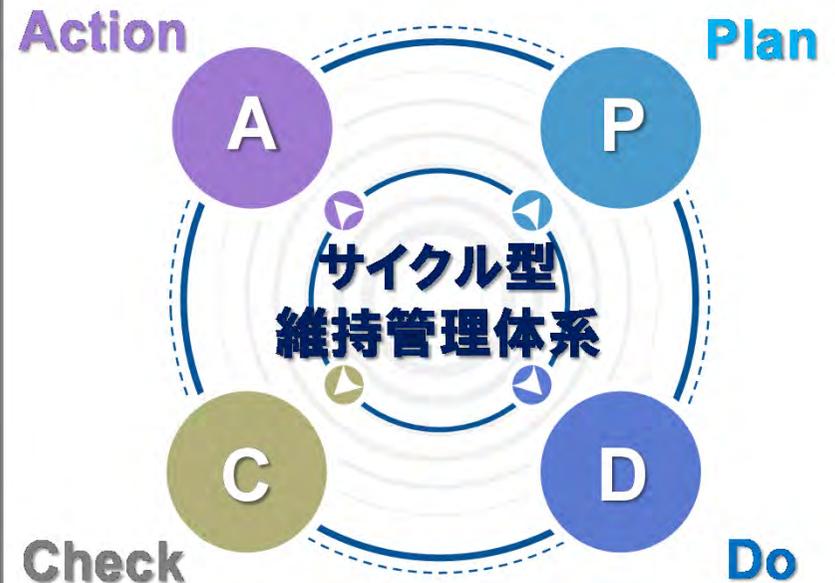
RMDIS = River Management Data Intelligent Systemの略称



河川維持管理業務を支援する仕組みである河川維持管理DBシステムの
全国統一版を**RMDIS**と呼ぶ。

2 RMDISの目的

- ① 河川維持管理の現場における河川維持管理業務を**着実に、かつ効率的に行うための業務支援**。
- ② 現場での河川維持管理のPDCAサイクルによる**スパイラルアップの支援**、及びこれに基づく**技術基準やマニュアル類の充実**など、業務の高度化のための**知見の効率的な集積**。
- ③ 河川維持管理の政策の企画立案に資する基礎的な**情報収集の効率化と適切な管理**。



システム概要

3 RMDISの導入により期待される効果

現場

タブレットの導入により、現場監視行為を効率化・高度化

- ① 地図の活用やGPSによって位置情報を把握しながら、的確な周辺状況把握。
- ② 過去の記録や記録項目、関連情報を確認しながら、的確な現場記録を支援。
- ③ 記録と関連付けて写真を撮影。取得データをもとに簡易に日報等を作成。

事務所 出張所

維持管理に係るデータの一元管理により、所内の日常業務を効率化・高度化

- ① 台帳や河川カルテを共有化。蓄積したデータをもとに随時更新が可能。
- ② 適宜分析・評価を実施。河川管理レポート等のとりまとめや意思決定を支援。
- ③ 日常業務に係るデータを簡易に検索・確認。探しものに要する時間を軽減。



現場



事務所・出張所

RMDIS
導入



現場



事務所・出張所